

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<input type="checkbox"/> 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている		
2	<input type="checkbox"/> 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる		
3	<input type="checkbox"/> 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる		
2. 地域との支えあい			
4	<input type="checkbox"/> 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	○	町内会の方々への声掛けを今後も行事(ふれやか夏祭りへのお誘い)、散歩や買物等外出機会を増やして行きたい。近隣所の方との交流を深めていけるよう今後も努め継続していく。
5	<input type="checkbox"/> 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	運営推進会議(2月1回)において地域(町内会長、民生委員)の方々、地域包括支援センターとの話し合った内容を職員間に説明し共有化している。今後も定期的(ミーティング)に話し合う機会を設ける様に努める		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価する事で問題点の認識、改善策が判り今後の取り組み方が、職員間で話し合い、対応、解決策が出来る、今後も各スタッフ質の向上や改善に努め継続していく。		
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、生活状況、行事等の報告等を行ない、参加者の方から施設への意見等を頂いている。頂いた意見等に関しては、ミーティングの際話し合いを持ち、経営者と共にサービス向上に努めている。生活していく上での問題点を常に意識し、工夫を考慮している。	○	開設以来の入居者様、御家族の参加回数が減ってきている為、参加の呼びかけを密に行っていく。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営推進会議に地域包括支援センターの方へ出席頂き、情報提供を頂いている。市(介護保険課、保護課)とは密に連絡を取り合い、市が主催する会議、研修等には積極的に参加し情報提供に努めている。		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	現在、権利擁護を利用している入居者様もあり、これから利用する入居者様の為にも、職員へは個々情報提供、説明等を行っている。		
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	月1回の会議、毎日の申し送り、社会での報道ニュース時にその都度話し合いを設けスタッフ間で共有し理解をしている		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	施設見学時、利用契約時に重要事項等の説明を行っている。施設内での行事等の説明も行っている。入所前には御家族に、質問等に十分に時間をかけ話しやすい雰囲気作りに配慮を行ない、同意を得ている	
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	入居時に説明を行い、苦情受付窓口を明確に説明し、入居者様及び御家族に対して十分な対応をしている。受付窓口は明確にしている、相談しやすい様に全ての職員が御家族、入居者様に対応出来る体勢作り(施設来所時、御家族様への電話連絡、家族会、運営推進会議等)を行なっている	
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	面会時に金銭管理帳、健康状態を説明し特変時には連絡を密に行っている。面会の少ないご家族には情報、伝達はこまめに電話連絡を行なっている。遠方の御家族様には電話にて報告を行っている。日常生活の様子等は遊歩館通信の配布を行っている。	
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関等に意見箱を設置している。事例は発生していないが、事例が発生した場合は、速やかに対応し、職員間で話し合いを行ない実現するように配慮している。苦情処理書を作成し、職員で話し合い速やかに対応出来るようにしている。面会時のコミュニケーションを密に行っている。	
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	法人代表者とは月1回会議で話し合いを行い、必要に応じての話し合いも密に行ない連携作りをしている。職員の意見は十分に聞き、改善すべき事項に反映させている。	
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	職員間で話し合い、勤務調整等行なっている。	
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	法人代表者とは定期的に話し合い、事前の対応策に努め、職員に対応法を周知し入居者様が困惑しない様に努力している。勉強会の開催等や面談等により職員ストレス解消策を実施している。職員の離職を最小限に抑える様努め、入居者様には栄転で移動された旨お伝えしている。	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	施設での定期的な勉強会を実施し資料の配布をしている。個々のレベルに応じた研修会にも受講を行い、職員間の疑問、質問等への説明をし今後も継続していく、個々のレベルに応じた研修への参加、自主的な勉強会の開催を実施し継続していく。	
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	研修参加時の交流や、管理者が他ホームへ訪問したり、他ホームの管理者が当ホームに来ていたり、相互の情報の交換等を行なっている。又スタッフ、管理者等が北見地区グループホーム勉強会に参加して情報収集している。	
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	日常的にコミュニケーションを図り個々に相談を受けている又親睦会の機会を増やしている。各個別にストレス解消策はとっている。	
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	個々の職員の心がまえ、向上心を把握し、同じレベルに向けて個々の指導、努力を行なっている。職責別に目的や役割を説明し、向上心を持って勤務できるよう努めている。個人評価表(能力評価表)を用いている為、個々のレベルアップに繋がっている。	
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	事前にご本人の生活歴を把握し施設見学、相談時に十分な時間を費やし雰囲気づくりを行い質問等を受け説明し納得して頂く支援をしている。御本人が求めている事がらに十分に、聞く姿勢を示し時間を掛けて行なう事を継続していく。	
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	御家族様、入居者様の日常的に必要な支援、希望等の要望を聞き、困っている事の不安を取り除き、安心出来る支援を実施している。ご家族の意向を十分に聞き、安心して頂く様、対応に努める。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談内容を十分に把握し、付随する介護支援の情報提供や調整に努めている。今後もご家族と職員とで密に連携を保ち、いつでも話せる環境の配慮に努め継続していく。		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	自宅の雰囲気を居室に取り入れ馴染まれた空間作りと個性を受け入れた声かけ、自信を高める言葉かけをしている。個々の生まれ育った環境、生活暦を大切にした対応に努めている。		
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	人生経験が豊富な為学ぶ事が多く、日頃から時間の許す限りコミュニケーションを図っている。喜びを分かち合い入居者様の自信を高める言葉かけを行っている。個々に応じて今後も対応し継続していく。		
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族来所時、日常生活報告と共に支えあう関係を築いている。その都度の話し合いをもち御家族の希望に添える様努める。面会の少ないご家族には、情報、伝達はこまめに電話連絡を行ない面会への声掛けや相談等に対応している。		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	入居者様、御家族の生活暦を把握し経験等を共有し合い、理解を示し配慮に努めている。家族とのコミュニケーションを密にしスタッフ間で把握し、共有し合い支援に努めている。		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	今後も情報を密に行い入居者様と御家族様との情報をスタッフ間で共用し途切れないように努めていく。交流を継続し実施していく。		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	日常的に入居者様同士の関係作り、支えあう環境の場作りを行ない、仲の良い仲間作り、孤立しないように声かけを行い、トラブル時はスタッフが間に入り修正をしている。日常的に食堂にてレクレーションを行なっている。職員同士が話し合いを行ない、より良い環境づくりを行い継続していく。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	十分な説明、終了後の情報提供と共に支援を行なっている。関係機関、ご家族等との連絡、面談、情報交換を実行し継続している。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	個々を尊重し合い、個々にあった対応を行い、個々の生活空間を害わない自由な生活が送れるように日々支援している。		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	個人の個性を受け入れ、生まれ育った環境や暮らし方、生き方を大切に出来るよう環境への支援をしている。個々の生活歴情報収集を行い、その人に合った生活が送れるように支援し継続していく。		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	勤務交替時の申し送り、その都度の話し合い等で情報伝達を行い記録に残し勤務者に伝達している。伝達内容を区別して、把握しやすい方法を取っている。①生活記録 ②薬 ③看護記録 ④一般内容等に区別している。		
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ご家族の来所時、日常生活の報告を行い又ご家族からの意見、意向等を聞き、ご本人の希望を踏まえ職員間で話し合いを行い、作成し家族に送付している。		
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	状態変化に応じた随時見直しを行う為、入居者様、ご家族等の意向を職員間でミーティングで話し合い、状態に応じた介護計画の見直しを実行している。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	入居者様1人1人の日々の記録、状態変化を具体的に個別に記録に残している。記録の見直し等も、その都度行き意見交換を実施している。御家族の希望があればいつでも記録を見て頂いている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	御家族様、医療機関、市役所との連携を行ない、その都度 の状態変化に応じて、施設長等に報告し、より良い支援を実施している。		
行っている				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	2ヶ月に1回運営推進会議にて地域の方々(町内会長、民生委員、地域包括支援センター)と話し合い、市役所との連携も密に行なっている。		
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	ご本人、ご家族の意向が発生しなかった為実施されていない。ご本人やご家族からの要望や必要性が発生した場合は柔軟に対応していく。		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	2ヶ月1回の運営推進会議等で話し合いの場を設け地域包括支援会議にも出席し必要に応じて話し合いをしている。		
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	往診を受けてる入居者様は往診時に状態報告をしている。入居前からの医療機関等を継続している入居者様は受診時に介護添書を持参し医療機関と密な連携を保っている。入居者様、ご家族等は希望する医療機関等によって安心されている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>		
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	○	<p>各関係者との協力を強化し継続する必要がある。終末期に向けその人にあったケアが提供出来る様努めていく。</p>
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	各入居者様の生活暦、人格を尊重し、対応に配慮した言葉かけを行なっている。記録は個人ファイルに保管し鍵を掛けている。家族希望時は記録を隠帳して頂いている。	
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	日頃からコミュニケーションを図りながら入居者様の生活習慣、生活暦を把握し、自己決定できるように言葉かけを行い、個々に合わせて対応出来る様努めている。	
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者様のペースに合わせて対応をし、希望、想い入れを取り入れながら負担を掛けずに行なっている。個々の日常生活において強制することなく支援している。	
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	個々に合わせた自己決定でおしゃれを優先しており、個々の髪型、服装に配慮し、好みの服装、清潔感を保ちながら相談に応じている。日常の着替え、外出の際も自己決定できるように支援している。	
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者様の状態に合わせた調理方法で、使い慣れた食器を使用し、楽しく食べられる雰囲気作りに努めている。盛り付け、後片付け等を一緒に行い必要に応じて見守り、声掛けを行なっている。食事量、水分量も把握し記録に残している。	
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	喫煙される方は喫煙場所を決めさせて頂いている。入居者様、職員が使用した吸殻は入居者様の目の届かない場所に置き安全に努めている。飲酒を希望される入居者様はいないです。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	個々の身体状況に応じ対応し、時間を見て声かけ、トイレへの誘導を行い、自立支援にに向けての声掛けを行なっている。排泄チェック表を使用している。清潔保持できるように見守り、必要に応じて声掛けを行なっている。		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は個別対応し、個々の希望時に支援し、1週間に最低2回入浴できるように支援している。バイタルチェック、体調不良の訴えを聞き健康チェックし、入浴時間を強制することなく支援している。		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	内、外部の音、居室の温度、湿度、寝具の確認等を十分に配慮して対応を行っている個々の睡眠パターンを記録に残し職員間で把握を行い、必要に応じて日中の覚醒の声掛け、適時の運動(散歩、レクリエーション)を支援している。		
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	その人の歩んできた人生、生き方、暮らしを大切に支援し個々の個性を受け入れている。個々の生活情報収集を行い、その人らしい生活が送れるように支援し継続している。入居者様の出来る範囲内で生活上の役割分担をお願いしています。		
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	希望に応じ所持されてる方は自己管理を徹底して頂いている。週1回の買い物外出では、見守りの元、支払いをしている。他の入居者様は家族管理をされている。		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	職員と近隣への散歩、買い物等には外出をされる。入居者様の中には定期的にご家族交えての外出される方もいる。		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	入居者様の中には、ご家族と共に買い物やお墓参り、御自宅等に外出されている又、施設で計画的にドライブ、外食、花見等にも外出している。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話対応できる入居者様には手助けを行ったり、手紙の代行したり個別の対応に配慮している。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	ご家族、知人、ボランティア等方には、いつでも声掛けをして頂ける様に配慮し、いつでも訪問してくれる環境を整えてる。		
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体束縛のない各個人の自由な生活空間→居間での憩いの時間、食事時間、就寝時間→を自由な生活が送れるように配慮している。		
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中、自由に行き来できるように施錠は行っていない。玄関開閉時はセンサーの音で対応をしている。夜間20:00に施錠を行ない朝5:30に開錠している。		
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	個々のプライバシーを尊重しながら状態把握できる場所でケアを継続している。居室で休息以外は職員と過ごす時間を多く取り入れている。		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	危険回避に注意を払い、個々に合わせた対応を行なっている。その人らしい生活をエンジョイして頂いてる。今後も自由な生活が送れるケアを継続しく。		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	個々の生活習慣を把握し職員間で共有している。マニュアルを作成し、随時(月1回の会議、その都度の事例時)職員間で話し合いを行なっている。今後も緊急事態を未然に防ぐ為、ミーティングで話し合いを行ない再発防止に努めている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	緊急時のマニュアルを作成し、日常的に話し合い、会議にても学習、勉強を行ない、迅速に対応出来る様になっている。多様なケースが考えられ、経験の少ない職員いる為、継続して学習していく。		
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	ミーティング等で定期的に職員間で話し合いを行なっている。緊急時のマニュアルを作成し、年2回避難訓練等を行い、今後も緊急事態を未然に防ぐ為に継続し、実施していく。	○	定期的に避難訓練等行っており、口頭では近隣(町内会長、民生委員等)の方からの協力も得られる様調整している。町内会の総会等で再度の依頼と体制づくりを検討していきたい。
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	入所時、ご家族の面会時に日頃の健康状態、生活状況を説明し密に家族との連携を図っている。ご家族が近郊にいない入居者様は市役所と連携を図り、面会の少ないご家族には、情報、伝達をこまめに電話連絡をしている		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	日常的に心身の変化や特変時は、掛かりつけの医療機関施設、協力医療機関に相談を行ない、ご家族にも、その都度情報提供している。心身の変化時は、状態に応じて受診を行ない、受診時は家族に報告、相談を行なっている。		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	入居者様の疾患、服薬してる薬の目的を理解し、副作用の用法や容量に行き違いのないように申し送り、会議等で把握し確認を行なっている。誤薬がないように準備段階、服薬前の2名での確認(氏名、日付け、用法)を行ない全職員が把握出来る状態にしている		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	個々の排尿、排便状態を排泄表で把握し、軽い運動や水分の摂取量に配慮している。便秘が続く入居者様に対して、病院での受診時Drと相談し、便秘薬の服用をしている。		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後、個別に声掛け、見守り、一部介助を行ない歯磨き、嗽等を行っている。義歯使用の入居者様には夕食後、洗浄剤を使用して清潔保持している。個々に合わせて対応に努めている。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77 ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	各個人、個人の水分量、食事量チェック表に記録して職員間で全体を通して把握している。食事の片よりのある入居者様には声掛けして促しをして必要に応じ補助食品、野菜ジュース類を飲用して頂いている。水分量はチェック表を使用し不足がちな入居者様には、必要に応じて対応している。		
78 ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	マニュアルを作成し、時期に応じて対応策を実施している。入居時の健康診断の実施、年1回のインフルエンザ予防接種の実施、多様なケースについては医療機関のDrなど専門家に相談し助言を得るようにしている。手洗い、うがいを徹底し感染症の予防を行っている。		
79 ○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食器類は熱湯(85℃の保った状態)5分間付け置きし清潔保持を行い又、毎食後(食器、まな板、布巾、包丁)10分間、塩素ハイター付け置きを行い、他、毎日定期的に冷蔵庫、手すり、雑巾等を消毒、実施し今後も継続していく。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり			
(1)居心地のよい環境づくり			
80 ○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	家庭的な空間を取り入れ、野菜作り、花等を作り、玄関にはベンチを設置し、安心して出入りできる雰囲気作りを行なっている。今後も継続し入居者様と楽しめるよう工夫している。		
81 ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	個別に応じて温度の調整、会話のトーン等の工夫を行っている。入居者が落ち着いて生活出来る様、換気、照明、テレビの音、外部の雑音への工夫を行ない、窓から眺められる景観にも季節感が味わえる。家具配置、装飾等は入居者様と相談しながら家庭的雰囲気を出している。		
82 ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	入居者様に対して、ゆっくり休める個室もあり、気の合った仲間同士で過ごせる居間等も配置し工夫をしている。個々に応じて対応を取り入れ、自然に居場所が定まり入居者同士の会話が弾んでいる		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	以前使用していた品物(茶碗、お椀、箸、湯のみ、タンス、寝具類 ベット等)を持ち込み安心して過ごせるように配慮している。入居者様が使い慣れた生活用品を使用する事で落ち着いた生活が継続出来るように心掛け手ている。		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	清掃時、入室時には空気の入れ替え、温度調整等を随時行い温度計を設置し温度、湿度をチェック表に記入している。入室時、入居者様に確認をとり必要に応じて消臭剤、芳香剤、ゴミ処理等を行なっている。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	入居者様の自立に向けて廊下、トイレ等に手すりを取り付け転倒回避、歩行の安全確保に努め支援している。洗面所、トイレ等は車イス対応出来るように広さへの確保をしている。		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	個々の得意分野(食事の盛り付け、後片づけ、洗濯物整理整頓等)は見守りのみ行なっている。更衣、入浴、排泄等は入居者様が自力で行なえる事は見守りを行ない、個々に応じて見守り、一部介助等を見極め支援している。		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	玄関先には花を置いて和めるように配慮しベンチで涼ずめるように配置を行い空間への配慮をしている。畑には作物(野菜等)を栽培し、入居者様と収穫祭を楽しんでいる。		

V. サービスの成果に関する項目			
項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	③たまに
			④ほとんどない
			①大いに増えている
			②少しずつ増えている
98	職員は、生き生きと働いている	○	③あまり増えていない
			④全くいない
			①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
			①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
			①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

定例の家族会を含み、毎月の行事等を行い、手作りのお誕生会、週1回の手作り料理も好評を頂いており和やかな雰囲気をかもし出しています。入居者様とは日常的に散歩やゲーム、折り紙等の趣味的活動を通じてコミュニケーションを図り、身体・認知的状況を観察し、職員間で把握し、家族との連携を図り御家族様には安心して頂いて居ります。